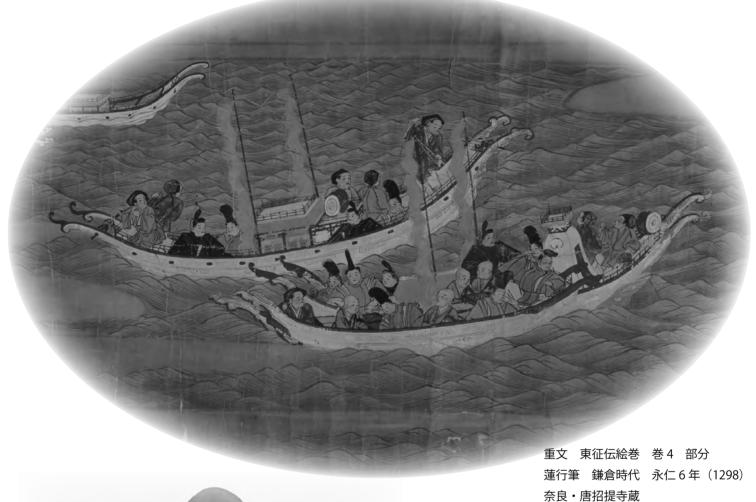
たいじ 展示を楽しむための鑑賞ガイド

がはったがなったが、なったが、大は神と鑑真さん



※この場面は4月20日~5月16日展示

「戒律」って、いったい何?? ボクといっしょに考えてみよう!

゚゚゚゚゚゚゚ 鑑真さんってどんなひと?

国宝 鑑真和上坐像 奈良時代(8世紀) 奈良·唐招提寺蔵 ※通期展示

戒律ってなに?

がんじん 鑑真さんが日本に伝えた「戒律」とは、なんでしょうか? お釈迦さまが定めたとされる規則や基準のことを言いました。

が成

- ・仏教徒が守らなければならない、心がまえ
- ・生活習慣などに関連したもの
- ・やぶっても罰則はない

- ・僧侶が守らなければならない、きまり
- やぶると罰則がある





部分 奈良時代 天平勝宝九年 (757) 京都国立博物館蔵

がんじん

鑑真さんってどんなひと?

何をしたの?

がいた 鑑真さん (688 ~ 763) は、唐の揚州 (今 の中国・江蘇省) の人です。

753年に来日し、「戒律」を日本に伝えました。戒律を授け、一人前の仏教徒として。就は、授戒)を行い、そのための戒壇を、日本で初めて立てたことでも知られています。また、修行の場として唐招提寺を開き、弟子たちの指導にあたりました。

国宝 鑑真和上坐像 奈良時代 (8世紀) 奈良·唐招提寺蔵 ※通期展示



ドラマチックな人生

鑑真さんは、中国の大明寺で住職をしている時、聖武天皇 (701 ~ 756) に命じられて日本から来た 2 人の僧侶 (栄叡・普照) に「正しい仏の教えを日本に伝えてほしい」と頼まれます。

人々に尊敬される立派な僧として知られていた鑑真さんですが、その地位をなげうって、危険な航海に挑みます。5回も失敗し、その途中で目が見えなくなりましたが、それでも諦めず、ついに日本にたどり着きました。「東征伝絵巻」には、鑑真さんのドラマチックな生涯が描かれています。」



ない。 たいまつでぬいます。 東方であった仏殿前で 東武天皇らに授戒をしている 場面☆



重文 東征伝絵巻 巻5 部分 蓮行筆 鎌倉時代 永仁6年 (1298) 奈良・唐招提寺蔵 ※この場面は4月27日~5月9日展示



鑑真さんが与えた影響

鑑真さんが船に積んだもの

◆仏教に関わるもの

- ・お経と、その解説書
- ・仏舎利 (お釈迦さまの骨)
- · 仏像や仏画
- · 仏真

◆文化に関わるもの

- •食べもの (味噌、麺、菓子など)
- ・香料、薬(砂糖など)
- 約銭
- 有名な書家 (王羲之など) の書
- ・様々な書物

鑑真さんと一緒に船に 乗ったひと

- ・弟子の僧侶
- ・いろいろな分野の職人

国宝 伝獅子吼菩薩立像 奈良時代(8世紀) 奈良・唐招提寺蔵 ※通期展示





鑑真さんが日本に来たことで、 最先端の文化や技術が日本に やってきたんだね! 鑑真さんが唐招提寺を開いた頃の仏像と考えられています。台座まで一本のカヤの木から彫り出され、体はボリューム感にあふれています。それまでの日本の仏像にはない特徴をもつため、鑑真さんと一緒に中国からやってきた職人が製作に関わったと言われています。

がいり 成律のあゆみ

鑑真さんが来日したことで、はじめて日本で正式な 就律を授けること(授戒)ができるようになりました。 しかし、その後は社会の変化に応じて、「戒律」に対す る考え方も見直されていきました。

時代によって変化はありましたが、元常は、日本に伝わってから現在にいたるまで、私たちに「仏教徒はどうあるべきか」「仏教とはどうあるべきか」を考えさせる存在であり続けているのです。

凝然国師没後 700 年 特別展「鑑真和上と戒律のあゆみ」

会期: 2021 年 3 月 27 日~ 5 月 16 日 会場:京都国立博物館平成知新館

編集:京都国立博物館 教育室 発行:2021年3月27日



令和 2 年度 文化庁 地域と協働した博物館創造活動支援事業